

## 第2回埼玉県少子化対策協議会 議事録

日時：平成30年8月28日（火）

10時00分～12時00分

場所：埼玉県県民健康センター 大会議室A・B

### 1 開会

#### 2 あいさつ（福祉部少子化対策局 小池局長）

- ・ 市町村の皆様におかれては、議会会期中にもかかわらずお集まりいただき感謝申し上げます。
- ・ 少子化に歯止めをかけるための対策を市町村の皆様と協議する場であるが、少子化に係る課題は幅広く多様になっている。目の前の喫緊の課題である「待機児童対策」、今年度から開始した「SAITAMA 出会いサポートセンター」へ御協力いただいている「未婚・晩婚化への対策」、目に見えにくいものとして「子どもの貧困対策」など、性質が異なったり、複数の部署にまたがったりする困難な課題である。
- ・ 本日は県の施策の取組状況、3つの市町村の優良事例などについて御説明させていただき、関係部署にも情報提供いただき、新年度予算編成の参考にさせていただきたい。
- ・ また、市町村の皆様にご協力をいただいている「3キュー子育てチケット」については、利用者の意見などを踏まえ、8月からさらに対象メニューを拡大した。
- ・ すでに窓口での申請書の配布などに御協力いただいているが、さらに保健センターの事業などでの周知もお願いしたい。

### 3 議題

#### (1) 平成30年度事業について

##### ① 多子世帯応援クーポン事業

資料1-1、1-2、1-3について、柳田少子政策課主幹が説明

- ・ 申請率向上の取組として、「タクシー（子どもと同乗する場合）」「おしりふきおむつカバーの購入代」「写真館での記念撮影」を新たに対象メニューとした。
- ・ 市町村での制度周知についてだが、保健センターでの周知が効果的であるため、各市町村の保健センターへ訪問させていただきたい。

##### ② SAITAMA 出会いサポートセンター事業

資料2-1、2-2について、大熊少子政策課副課長が説明

- ・ 8月1日から会員登録を開始、8月3日にセンターのオープニングイベントとして大規模な婚活パーティを実施した。10月から本格的なマッチングを実施していく。
- ・ 登録を開始して約2週間ほどだが、すでに400人以上の方に仮登録いただいている。全県的に会員数は伸びており、ニーズはあるものと考えている。

## ②-1 事例紹介（上里町）

資料2-3について、上里町総合政策課岩崎係長から説明

- ・ 県北7市町（熊谷市、深谷市、本庄市、美里町、神川町、寄居町、上里町）で「埼玉県北部地域地方創生推進協議会」を設置し、セミナーや婚活イベントを企画、実施している。
- ・ 上里町は小規模な自治体であり、単独でイベントをやるのは困難であったため、近隣市町村と協議会を立ち上げ、活動していた。SAITAMA 出会いサポートセンターへ参加することは、スケールメリットを生かした事業への参加、さらには官民連携の事業であり信頼性も確保されていることがメリットである。

## ③ 子どもの貧困関係

資料3-1、3-2、3-3、4-1、4-2について、

夏目少子政策課主幹から説明

資料5-1、5-2について、内田福祉部企画幹から説明

- ・ 子どもの貧困の実態調査については市町村の皆様には大きな御協力をいただいている。子どもの生活に関する調査について、資料3-3の項目で調査を実施している。
- ・ 子どもの貧困に関して、各部局横断的に対応するためプロジェクトチームを立ち上げ、フェイスブックにて情報発信を始めている。平成30年11月に貧困の連鎖解消を目的とした活動を行う「こども応援ネットワーク埼玉」を設立する。

## ④ ひとり親家庭への就労支援

資料6について、新井少子政策課主幹から説明

- ・ ひとり親家庭への就労支援として、ニーズの高い看護師資格の取得を支援するため、今年度新たに「看護学校受験対策講座」を立ち上げた。受講者にアンケートを実施したところ、非常によい評価をいただき、また、市町村からの情報提供によりこの事業を知ったという声が多かった。今後は受験直前対策講座や資格取得セミナーを実施する予定である。引き続き事業周知に御協力をお願いしたい。
- ・ 今年度の新たな取組として、市町村に御協力をいただき、児童扶養手当現況届手続期間、「ひとり親家庭相談会」を実施した。多くの相談者にご来場いただき、手当の手続に続いて就職等の相談もできて便利との感想をいただいた。

## ⑤ 保育士確保関係

資料7-1～7-6について、渡邊少子政策課主幹から説明

- ・ 今年度新規事業である「SAITAMA 保育人材開拓事業」については、保育士・保育所支援センターでの保育士に係る求人・求職のマッチングを強化するために就業意向調査やSNSによる情報発信、保育園アドバイザーによる各保育所等への訪問をさせていただく事業である。市町村の皆様にはぜひ御協力をいただきたい。
- ・ 昨年度から実施している保育士等キャリアアップ研修事業について、今年度も県内4か所で実施予定である。昨年度参加者の96%以上が有意義であったとアンケートに回答した事業であり、各園においても処遇改善につながる研修であるため、忙しい業務の中であっても該当保育士が受講できるよう配慮いただいている。市町村の皆様からも管内施設への周知に引き続き御協力いただきたい。

## (2) 情報提供その他

### ① 保育の地域区分関係

資料 8-1、8-2 について、高島少子政策課長から説明

### ② 子ども・子育て支援新制度セミナー関係

資料 9-1、9-2 について、高島少子政策課長から説明

### ③ 特定教育・保育施設における安全確保・事故防止の徹底について

資料 10 について、高島少子政策課長から説明

### ④ 保育所等の待機児童数について

資料 11 について、高島少子政策課長から説明

### ⑤ 市町村取組事例紹介

資料 9-3 について、戸田市こども青少年部保育幼稚園室河原副主幹から説明

- ・ 待機児童県内ワースト 1 位（平成 28 年度）から、さまざま取組により待機児童 49 名（平成 30 年度）まで減少することができたが、一方で戸田市内の保育士へアンケートを実施したところ、「今後は戸田市外で保育士として働きたい」「保育士を辞め、別の職種で働きたい」が約 4 割という結果があった。
- ・ この現状を打破するために「とだの保育創造プロジェクト会議」を発足し、産学官協働による保育人材の確保、保育人材の定着化、戸田市の保育の魅力アップに向けた取組をスタートした。

別紙資料について、横瀬町子育て支援課大畑副課長から説明

- ・ 「よこらぼ」とは、横瀬町を拠点に新たなチャレンジをしたいという企業や団体、個人の皆様のビジネスプランやアイデアをサポートしていくプラットフォームである。
- ・ 「よこらぼ」を活用した「小児科オンライン」はスマートフォンで簡単に予約をし相談できるという仕組みである。運営会社に登録している小児科医師や町内の保育施設の職員にも登録してもらい、利用者の相談に対応できるようにした。

## 4 閉会